

第6回 淀川左岸線（2期）事業に関する技術検討委員会 議事骨子

平成27年1月29日

開催日時：平成27年1月29日（木）14:00～15:50
開催場所：大阪合同庁舎第1号館 新館3階 A会議室

第6回淀川左岸線（2期）事業に関する技術検討委員会を開催した。審議内容及び審議結果は次のとおり。

1. 審議内容及び審議結果

1) 説明内容

事務局から以下の内容を説明した。

- ・ 本委員会は、前回委員会において全6回でとりまとめを行う予定としていたが、具体的な施工方法、完成形状の検討などに時間を要したことにより、引き続き第7回委員会を開催することを説明した。
- ・ 資料6-5に基づき、委員会規約の一部改正について説明した。
- ・ 資料6-1～資料6-3に基づき、一体構造物の概要、施工時における一体構造物の影響検討、完成時における一体構造物のモニタリングに関する検討について説明した。
- ・ 資料6-4に基づき、今後の委員会スケジュールについて説明した。

2) 審議内容及び結果

- ・ 会議における議事録については、会議後速やかに作成する旨を規約に追加し、規約の一部改正を行った。
- ・ 道路線形、河川における計画を踏まえた河川条件および当該地域の地盤特性から、一体構造物の基本的な整備方針について報告した。
- ・ 施工時の治水安全性の確保を目的とした仮締切堤の構造として、鋼矢板二重式仮締切および土堤仮締切を採用する方針とし、土堤仮締切における、耐浸透機能、耐侵食機能、耐震機能の定量的評価結果、仮締切時の河道内水位結果、巨大地震時における緊急復旧計画、施工時のモニタリング計画を踏まえて、施工時の安全性評価結果を了承した。
- ・ 一体構造物完成時のモニタリング項目の検討結果を報告し、今後は、それぞれの項目について、具体的な手法・計測箇所・計測頻度・計測期間等に関する方針整理を行うこととした。

3) 今後の委員会スケジュールについて

- ・ 第7回の委員会では、完成時における一体構造物の確保機能の検討、完成時における一体構造物のモニタリングの実施方針に関する検討、委員会のとりまとめ等を議題とする。
- ・ 次回委員会は、平成27年度上半期の開催を目指して検討を進め、第7回委員会をもって本委員会をとりまとめる。

以上